

『誰でもできるタグラグビー トライセットキャンペーン』

実施レポート

学校名	徳島県阿南市立新野小学校	実施日	平成25年11月7日、14日、21日、28日
担当教員名	堂前 正美	実施学年・人数	4年生 12人
学校・学級紹介	<p>学校紹介 本校は阿南市の南西部に位置し、山と川にかこまれた東西に長細い地形の中にある。5年前に学校が合併したことで、通学距離が4キロ以上の児童も1割以上いる。 過疎化に伴い児童数が急激に減少し、校歌の歌詞が三百から二百に変わってしまうほどで、現在の在校生は92名になっている。</p> <p>学級紹介 4年生は男子5名・女子7名、計12名。運動は好きであるが、運動能力に差があり、またゲーム運動は人数の関係で工夫したものは経験できていない。</p>		
実施内容	<p>○オリエンテーション ・タグラグビーガイドブックを使って ○ゲームの仕方を知り、ゲームをする。 ○ルールや作戦を工夫して、タグラグビーをする。</p>		
指導のポイント	<p>3年生のときに「タグラグビー」については経験しているが、1年ぶりなので、楕円形ボールになれるところからスタートした。ボール・タグ・タグベルトなど準備物がたくさんあるので、準備や片付けの担当を決めたり、学習の中で守らなければいけないことは何かを指導した。特に用具の使い方など、安全管理を徹底した。 また、ゲームをとおして仲間づくりやコミュニケーション能力の育成を図った。</p>		
感想・印象 今後の展望	<p>早く試合がしたくて、子どもたちは意欲的に取り組んでいた。しかし、ルールが徹底できずけんかになってしまったり、反則をしたり、試合を中断することが多かった。しかし、中学年の子どもに話して説明するよりも、実際にやってその都度「今のここが反則です。」という指導の方が、分かりやすかったと実感した。</p>		